

⑫ 公開特許公報 (A)

昭55—156740

⑤ Int. Cl.³
B 60 S 1/60
B 60 R 1/06

識別記号

庁内整理番号
7111—3D
7191—3D

⑬ 公開 昭和55年(1980)12月6日

発明の数 1
審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ 自動車用洗浄装置付サイドミラー

⑯ 発明者 永野礼子

京都市右京区西院春栄町23番地

⑰ 特 願 昭54—64710

⑰ 出 願 人 永野益一

⑱ 出 願 昭54(1979)5月24日

京都市右京区西院春栄町23番地

⑲ 発明者 永野益一

⑲ 出 願 人 永野礼子

京都市右京区西院春栄町23番地

京都市右京区西院春栄町23番地

P 1

明 細 書

1. 発明の名称 自動車用洗浄装置付サイドミラー

2. 特許請求の範囲

1. 自動車サイドミラー 1 の雨滴付着防止用フー
ド 2 の上端部にミラー 1 表面洗滌を目的とした洗
滌液噴出用ノズル 4 を有する丁字型パイプ 3 をミ
ラー 1 上部に取付け、パイプ 3 をサイドミラー内
部に内蔵しウインドウウォッシャー用ホース 13 よ
り分岐したホース 16 に連結した丁字型パイプ 3、
3 はウインドウウォッシャーを作動することにより
噴出される洗滌液 11 にてミラー 1 面を洗滌し、
水滴に著しく反射効果を阻害されたミラー面を運
転台にてのウインドウウォッシャー液噴出操作にて
ウインドガラスとサイドミラー面を同時に洗滌液
にて清浄し、ミラー本来の効果を得る自動車用洗
浄装置付サイドミラー。

2. ミラー洗滌液用タンクはウインドウウォッシャ
ータンクと併用せず別個の液噴射用加圧モーター
付タンクを使用することも可である特許請求範囲

P 2

第 1 項記載の自動車用洗浄装置付サイドミラー。

3. 丁字型パイプ 3 の脚部 8 はサイドミラー本体
の裏面外壁部に取付使用することも可能な特許請求範
囲第 1 項記載の自動車用洗浄装置付サイドミラー。

3. 発明の詳細な説明

本発明は自動車運転走行に欠く事の出来ない、
サイドミラーに関するものである。

サイドミラーの用途は発進、幅寄せ時、後続車、
追越車、特に大型車のトラック、バスにおいては
車のバック時、右左折時に欠かす事が出来ないも
のである。ゆえに自動車にサイドミラーの取付は
自動車保安基準法においても設置が義務づけられ
ている。

晴天の日はミラーの反射は良く運転走行には何等
不自由は感じられないが雨天の日は降りかゝる雨
がミラー面に水滴となつて付着し、ミラーの反射
効果は急激減し後方の確認が充分に出来なくなる。
既装着のサイドミラーはこの点を考慮してミラー

上部にフードを取付け水滴付着を防止する様設計されてあるが、降雨は風または走行条件によつてどうしても多量の水滴がミラー表面に付着しその効果を妨げるものである。本発明はミラーに付着せる水滴をば車内操作により洗滌液にて洗い落とし常に鮮明なミラー効果を発揮さすを特長とする。

実施例を図面にもとずき説明すれば、

1. 乗用自動車等フェンダー型に取付けられているサイドミラーに関しては、ミラー1の固定用ともなっているフード枠2の上端部に数ヶ所にノズル4を設置した丁字型パイプ3をミラー面に添つて固着し、洗滌液噴射ノズル4はミラー1表面を洗浄するに効果的な位置に設置する。5はサイドミラー本体取付用ブラケットで底部をフェンダー9に取付けるボルト6とナット7が有る。丁字型ノズル3のパイプ8はサイドミラー内の空腔部及びブラケット部5内に内蔵し、ホース16差込口10をブラケット底部より長く出しホース16の取付を容易にする。

した時、ウインドワイパーを使用するのは周知のことである。ウインドガラス表面は油膜やホコリが付着し鮮明な視野が得られないのでウインドウオッシャーを使用して汚れを洗い落とし走行するがサイドミラーについてはその配慮が施されてなかつたが本発明によりウインドガラスと同時にサイドミラーも洗滌され付着した汚れ水滴も洗い流されて本来のミラー効果を発揮する。

雨中走行に際し洗滌液にて濡れたミラー面1に付着する水滴は界面活性剤を使用することにより付着する雨は水滴とならず流れ落ちるが降雨の状況にもよるが30.分から40分程走行すれば界面活性剤の効力も落ちてミラー面に水滴の付着現象が発生する様になれば、ウインドウオッシャー液噴射のスイッチをONにすればウインドガラスと同時にサイドミラー面にも洗滌液がノズル4より噴射洗浄され鮮明な前方視野とサイド、後方の視野を同時に得ることが出来る。交通量の多い昨今交通事故防止を目的とした降雨時の水滴によるサイ

洗滌液11であるが、タンクを別に新設するものであるが既設のウインドウオッシャー用のタンク12を併用すればよく、洗滌液はウインドウオッシャー用の界面活性剤混入の洗滌液が効果的である。界面活性剤の効用でミラー面に付着した汚れを落とすと同時に爾後付着する水滴をば流れ易くする効力がある。

配管法としては既設のウインドウオッシャーライン13の途中より丁字管14 15にて左右サイドミラー方向に分岐し、ホース16を新設しホース差込口10に接続することによりウインドウオッシャー液噴射と同時にフェンダーミラー洗滌液を同調させることが出来る。

2. トラック、バスに設置されている大型のサイドミラーもフェンダー型サイドミラー同様に丁字型ノズル4付パイプ8をサイドミラー内に内蔵、又はパイプ8をサイドミラー上部より裏面に回して固定し実施例1と同様に配管する。

使用法及び効果について申述べると雨が降りだ

ドミラー反射効果減退防止を特長とする自動車用洗浄装置付サイドミラー。

4. 図面の簡単な説明

図はこの発明の実施例を示し第1図はフェンダー型サイドミラーの正面図。第2図は側断面図。第3図はホースの配管略図。第4図は、大型車に取付けられているサイドミラーの正面図。第5図は同側断面図である。

- | | |
|--------------------|--------------|
| (1).....ミラー | (2).....フード枠 |
| (3).....丁字型ノズル付パイプ | (4).....ノズル |
| (8).....丁字型パイプ | (16).....ホース |

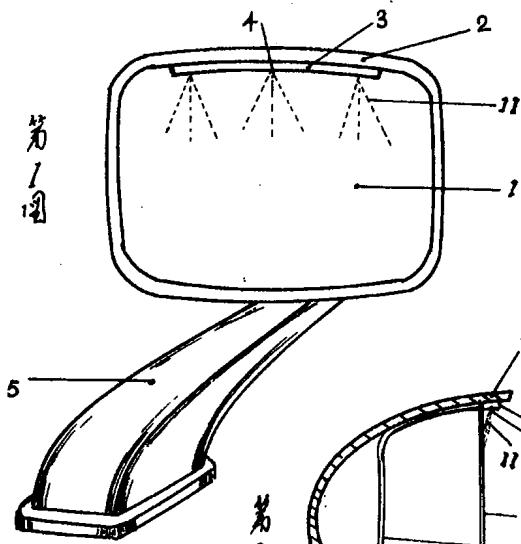
特許登録出願人

水 野 基 一

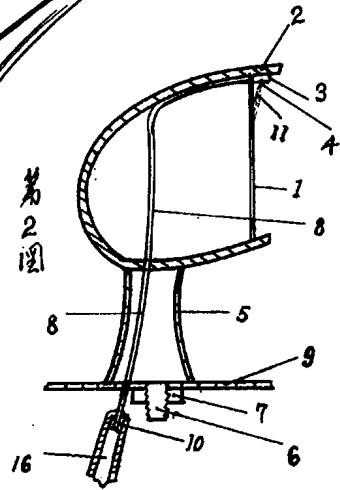
特許登録出願人

水 野 礼 子

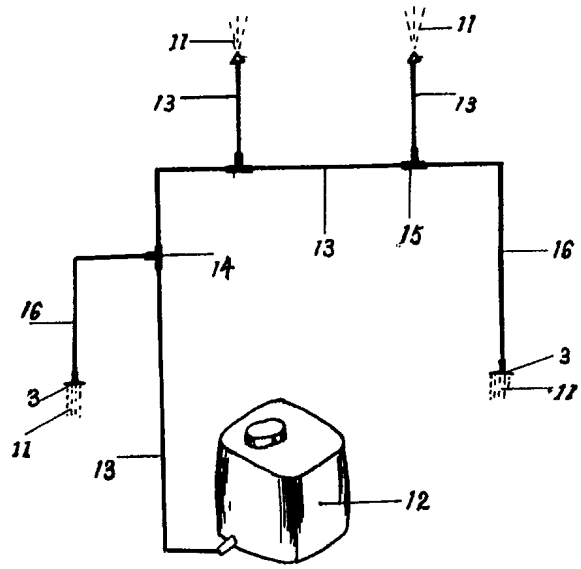
第1圖



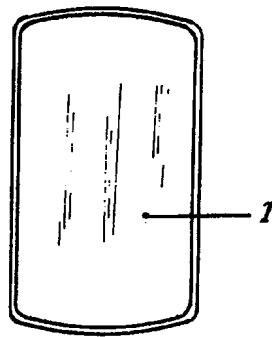
第2圖



第3圖



第4圖



第5圖

